

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立内部中学校  
校長 岡田 圭司**1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい**

- (1) 地域とともにある学校を目指し、保護者や地域の方々と協働しながら学校づくりをしていくために運営協議会を設置いたしました。地域の方々に学校づくりに主体的に参加していただくとともに、様々な支援をいただくことで地域の教育力を学校運営や教育活動に活かしていきます。
- (2) 客観的な視点からの助言や評価を受けて学校関係者評価をさらに充実させ、学校づくりビジョンの実現及びそれに向けた教育活動の改善に努めます。保護者や地域の方々の意見や願いを反映した学校づくりを推進していきます。

**2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について****(1) 教育活動の実践事例**

今年度も5回の運営協議会を開催し、内1回は小学校2校と合同で開催いたしました。本校は地域との関わりが大変深く、地域の行事として根差している活動が多数あります。今年度は新型コロナウイルス感染症による制約を受けることなく地域と学校が互いに連携し、地域の子どもたちを育成するため、活動を行ってまいりました。

**①子どもたちの安全・安心を守る学習環境の整備**

本年度も地域の方や保護者の方と生徒で学校周辺の環境整備を行いました。校内除草作業については昨年度と同様に PTA うつべっ子はげまし隊が連携した取組を行いました。

- ・采女城址通学路除草作業（6月、生徒参加）
- ・内部川清掃・アレチウリ駆除（7月、生徒参加）
- ・校内除草作業（PTA とはげまし隊との協働）
- ・はげまし隊による除草・剪定作業
- ・通学路見守り活動（PTA 本部役員、PTA 安全指導部  
PTA 地区常任委員）

**②地域や保護者とともに協働した活動・地域との交流**

吹奏楽部が「うつべっ子コンサート」や「内部地区文化祭」で出前演奏を行いました。特に「うつべっ子」コンサートは6年生が中学生の演奏を鑑賞することで、中学校生活へのイメージを抱くことができ、小中の滑らかな接続につながっています。また本年度も福祉委員を中心に「あったか訪問」において、製作したペン立てとコースターを高齢者施設に送り、3年ぶりに施設への直接訪問を行いました。



### ③夢と志を持ち、未来を切り拓くための活動

県内で活躍する医師を招き『志講演』を実施しました。将来に見通しを持ち、学ぶことへの目的意識を持たせるために生徒一人一人が自身のキャリアを具体的に考えられるように、様々なキャリア教育の取組をしています。

・「志」講演 ・プレ授業※小6対象 ・職業講話

(※職業講話は1年生で実施)



### ④子どもたちの人権を守る活動

人権フォーラムでは3年ぶりに各小中学校が実際に1つの会場に参集して、開催しました。「子どもの人権条約」に関わるテーマで校区内小学校6年生と本校の2年生がグループになり熱心に話し合いをしました。また、その様子を地域の人権教育推進協議会の皆様にも参観していただきました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も感染症の影響がありましたが対策を講じ、できる限り生徒に体験させることを大切に多くの活動を実施しました。また、運営委員の方々にも生徒がいきいきと活動する姿を昨年度以上にご覧いただけたと考えます。特に体育祭や文化祭では、委員の方々に観覧いただき、お褒めの言葉や様々な意見をいただきました。頂いたご意見は来年度以降の行事に反映していきたいと思えます。



また、昨年度に引き続き学校のホームページの更新はタイムリーに行いました。また導入された Home&School を活用したり、学校通信を通じたりして、より詳しい情報を保護者や運営委員の皆様にご発信できました。今年度は、地域との協働した活動や学校行事をコロナ禍による制限を受けることなく実施でき、たくさんの保護者や運営委員の皆様が学校に足を運んでいただいたことにより、改めて内部地区の教育に対する関心の高さや学校へサポート体制の厚さを感じ取れる1年でした。

## 3 今後に向けて

感染症の状況は収束しましたが、すべてをコロナ前に戻すのではなく、生徒と教職員がより有意義な教育活動ができるよう学校と地域が協力をしていく必要があります。

また教職員が子どもたちとよりしっかりと向き合い、心身とも健康的に教育活動に励むために働き方改革を積極的に進めます。業務の効率化や必要に応じて活動や行事も見直していかなければなりません。

学校はカリキュラムの見直しを図り、より教育効果の高い取組をしていかなければなりません。そのためには学校と運営委員の方々が見解や知恵を出し合いながら進めるコミュニティスクールの存在がますます重要になります。また内部小、内部東小とともにこれまで以上に地域と連携していくことも重要です。

最後に、「夢と志」を持った子どもたちを育てるために、今後も教職員・子どもたち地域の方々と力を合わせよりよい学校づくりを行ってまいります。

## 別紙B

## 令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立内部中 学校

委員長 伊藤 頼夫

校長 岡田 圭司

月	協議会の開催	活動内容
4	第1回コミュニティスクール運営協議会	学校づくりビジョン・内部中学校教育活動・生徒について協議等
5		
6		
7	第2回コミュニティスクール運営協議会	3校合同協議（内部東中）
8		
9	第3回コミュニティスクール運営協議会	体育祭参観
10		
11	第4回コミュニティスクール運営協議会	文化祭参観
12		
1		
2	第5回コミュニティスクール運営協議会	授業参観 学校自己評価について協議等
3		